

## 令和5年度第2回坂戸市文化財保護審議会（書面審議）の結果について

### 1 日 時

令和6年2月13日（火）から 令和6年3月1日（金）まで

### 2 参加者（意見書提出者）

文化財保護審議会委員10名

### 3 協議事項

#### （1）歴史民俗資料館の現状と移転に係る今後のスケジュールについて

##### 【概要】

「坂戸市北坂戸地区 まち・くらし再生事業」で計画されている歴史民俗資料館の移転について、現在の資料館の現状と課題を踏まえ、意見を求めた。

##### 【御意見】

・現在の資料館は、「元来、収蔵・展示等を目的として建築された建物ではないことによる構造的な課題」があるとするにも関わらず、「北坂戸公民館」を新施設として整備することで解決するものなのか。

・博物館は市民にとって大切な文化拠点であるとともに、対外的にみても象徴的存在である。まず基本的ありようの検討が必要であり、構想の主軸となるコンセプトについての論議・考察が欲しい。現在の資料館は旧勝呂小学校の校舎を利用しており、見学者の意見ではその点を評価する声が多い。新しい資料館は、そのような付加価値を持たないだけに、一層しっかりとしたコンセプトが求められる。

・「十分な収蔵スペースを確保すること」が新しい資料館の1つの条件となる。例えば古文書についてだけでも、今後散逸の危機にある文書の寄託等が望まれるが、保管だけでなく整理や閲覧に供するスペースも検討しなければならない。

・現在の資料館は構造的な課題に加えて設備面の老朽化が見られ、博物館としての機能を果たすことは非常に困難な状況にあると認識している。

・公民館と資料館では施設の目的が違うので、博物館としての改修は難しいのではないかと。

・現在のスケジュールでは新施設の開館は令和12年とあまりにも遠い話であり、1年でも短縮できないか。

・施設名について、この施設に行けば坂戸の歴史が学べると理解できるような名称を検討してほしい。

・資料の状態、資料の登録の見直し、スペースの確保や整理方法の確認等、内部作業が非常に多く、時間との勝負になるのが現実である。デジタル台帳のフォーマットを用意し、デジタル化を進めるべき。

・資料館の移転はやむを得ないと思うが、勝呂小学校を移築した現在の資料館も市の

宝物であり、どんな形でもよいので保存して行ってほしい。

- ・現状の資料館の老朽化は酷く、立地についてもアクセスが悪い。その点、移転先の北坂戸公民館跡地であれば現状から考えればはるかに良くなるが、より北坂戸駅に近い溝端公園に新設する方がより来館者も見込め、ベストであろうと考える。

- ・毎週ではなくとも、土日祝日の開館も検討したい。

- ・既存の建物を使用する場合、採光や照明の問題（明るすぎる）に留意する必要がある。また、展示ケースやレイアウト等が既存建物の間口や高さの制約を受けることが多く、収蔵スペースや資料の搬出入等の動線も検討する必要がある。

- ・十分な博物館業務が難しい現状であれば、よりよい施設に速やかに移転すべきである。一方で、歴史がある今の資料館が失われることはもったいないという思いもある。今の資料館を今後どのようにしていく予定なのか。

#### 4 報告事項

##### (1) 第5回伝統芸能発表会の結果について

###### 【概要】

令和5年11月に実施した、坂戸市無形民俗文化財保存団体協議会が主催する第5回伝統芸能発表会の開催結果について報告した。

###### 【御意見】

- ・子ども達の活躍が目立った。今後も若者や子ども達の参加を特に推奨したい。
- ・祭礼の当日だけでなく、こうした発表の場を設けることで、広く市民に周知していくとともに、後継者の育成にもつながるため、今後も継続して行ってほしい。
- ・市外在住者にも民俗芸能に興味を持っている方は多くいる。さまざまな広報手段を通じての周知を検討してほしい。
- ・交通の便がよい会場での開催も検討の余地がある。
- ・ぜひ動画サイト等で広く視聴できるようにしてほしい。

##### (2) 埋蔵文化財包蔵地の新規登録について

###### 【概要】

令和6年1月現在、市内では152箇所の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）が登録されている。今回、東山道武蔵道を新規の埋蔵文化財包蔵地範囲として指定し、登録の申請手続きを行なった。

###### 【御意見】

- ・東山道武蔵道は坂戸市としても重要な遺跡であり、今後も保護をお願いしたい。
- ・毛呂山町では、鎌倉街道上道跡が国指定史跡の登録を受けたことに伴い、市民ボランティアによる史跡案内をはじめ、積極的にPRを展開している。東山道武蔵道にお

いても、保存・活用につながるよう期待している。

- ・東山道武蔵道は坂戸市のみならず、埼玉県、広く関東地方の歴史を解明するうえでも重要な意味を持つ。所沢市や国分寺市では積極的な広報活動を行っており、坂戸市においても今後の活用を期待したい。

- ・道路遺構は周知の文化財として認知しにくいいため、登録は難しい場合があると考えており、東山道武蔵道の包蔵地登録はお見事。

### (3) 第2回坂戸のまつり開催計画について

#### 【概要】

平成28年9月に市制施行40周年を記念して開催された「坂戸のまつり」を、「第2回坂戸のまつり」として、令和6年度に開催する方向で計画している。

#### 【御意見】

- ・コロナ禍もあり、全国的に地域の伝統芸能の伝承に苦労されている。坂戸市も例外ではなく、各地区が結集したこのようなイベントを開催することで、伝統芸能の伝承だけではなく、坂戸市民の連帯感や地元愛等が芽生える重要な祭典になると思う。

- ・コロナ禍で活動の自粛を余儀なくされた保存団体に発表の場を提供する、良い企画である。

- ・坂戸市民は坂戸市出身者だけではない。坂戸に祭りがあることそのものを知らないという人もいるのではないか。そういった方々をどれだけ取り込んでいけるかも重要。

- ・もう少し開催間隔を短くしても良いのではないか。

### (4) 大宮住吉神楽保存会による中学校特別授業について

#### 【概要】

「坂戸の大宮住吉神楽」を継承する大宮住吉神楽保存会が、地元の住吉中学校で特別授業を実施した。

#### 【御意見】

- ・とても良い活動である。

- ・単発ではなく、継続して開催や他の小中学校でも同様の授業ができないか検討してほしい。

## 5 その他（自由記入）

#### 【御意見】

- ・歴史民俗資料館の広報活動について、企画展などもより多くの市民に知ってもらうために、広報さかどへ掲載しても良いと思う。

- ・市内の文化財案内板について、文字が読みづらい看板等は順次立替えを検討してほしい。